

1. 科目名 (単位数)	学習困難児指導法 (2 単位)		3. 科目番号	JNCC2507
2. 授業担当教員	酒井 博美			
4. 授業形態	講義、演習発表、ディスカッション		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし			
7. 講義概要	学習困難児の発達特性理解のための知識を学ぶ。そして、支援者として発達アセスメント等を通して、長所、得意な点を把握し、それらを活かし伸ばすことにより、課題である学習困難等を克服、改善できる理論、実践的能力を身につける。			
8. 学習目標	①自閉症や学習障害、ADHDなど特別なニーズを要する子どもの心情を理解し、共感的に接することができるようになる。 ②自閉症や学習障害、ADHDなど特別なニーズを要する子どもについて、保育士や幼稚園教諭、通常の学級や特別支援の学級・学校の教師として、子どもの心に寄り添い、集団の中でのよりよい育ちとニーズに応じた学びを促すために役立つ知識やスキルの獲得をめざす。			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	毎回の授業開始時に、事前学習として示した「要点・キーワード」について発表してもらう。レポート課題については、別途授業内で示す。各回の講義内容の理解を定着させるように、毎回の復習を確実にすること。			
10. 教科書・参考書・教材	【参考書】 酒井幸子・田中康雄 『発達に気になる子の個別の指導計画』学研プラス 2013 年 エドナ・D・コーブランド、ヴァレリー・L・ラヴ編『教師のための LD・ADHD 教育支援マニュアル』明石書店 2004 年			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. グループワークにおけるレポート課題の書き方に関する基礎的、基本的事項を理解し、説明できるか。 2. 分かりやすい表現方法や具体的かつ論理的な文章作成力が身に付いたか。 ○評定の方法 1. 平常点 (授業態度・授業への参加・授業内諸活動) 40% 2. まとめの課題 (テスト・レポート・発表などの活動) 60% なお、上記のほかにも本学の規程に定められている 3/4 以上の出席が単位の修得条件			
12. 受講生へのメッセージ	学習困難児といわれる子どもたちであっても、特性をよく知り、アプローチ方法を工夫することで、学びや発達が促されます。理論と実践を通して、かかわる力を身につけましょう。			
13. オフィスアワー	授業内に周知する			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	オリエンテーション、学習困難とは	事前学習	シラバスを読んでおく	
		事後学習	今後の学習内容を理解しておく	
第 2 回	学習困難児への指導の基礎 (1) 形態と場	事前学習	前回の授業で示した要点・キーワードを確認しておく	
		事後学習	ノートを復習し、内容を確実に理解する	
第 3 回	学習困難児への指導の基礎 (2) かかわるメンバーの役割: 子ども、親、教師、医師、学校	事前学習	前回の授業で示した要点・キーワードを確認する	
		事後学習	ノートを復習し、内容を確実に理解する	
第 4 回	学習困難児への指導の基礎 (3) 具体的な方法①指導計画	事前学習	前回の授業で示した要点・キーワードを確認する	
		事後学習	ノートを復習し、内容を確実に理解する	
第 5 回	学習困難児への指導の基礎 (4) 具体的な方法②教材の工夫、動機づけ、スモールステップ	事前学習	前回の授業で示した要点・キーワードを確認する	
		事後学習	ノートを復習し、内容を確実に理解する	
第 6 回	発達障害の概要	事前学習	前回の授業で示した要点・キーワードを確認する	
		事後学習	ノートを復習し、内容を確実に理解する	
第 7 回	自閉症スペクトラム障害の理解	事前学習	前回の授業で示した要点・キーワードを確認する	
		事後学習	自閉症スペクトラム障害の特性を説明できるようにしておく	
第 8 回	自閉症スペクトラム障害児への指導 グループワーク、発表	事前学習	グループワークの準備として、前回の内容をもとに、各自考えた指導方法を書いておく	
		事後学習	グループワークで示した内容に各自 1 つアイデアを加えてみる	
第 9 回	注意欠如多動性障害 (ADHD) の理解	事前学習	前回の授業で示した要点・キーワードを確認する	
		事後学習	注意欠如多動性障害の特性を説明できるようにしておく	
第 10 回	注意欠如多動性障害 (ADHD) 児への指導 グループワーク、発表	事前学習	グループワークの準備として、前回の内容をもとに、各自考えた指導方法を書いておく	
		事後学習	グループワークで示した内容に各自 1 つアイデアを加えてみる	
第 11 回	限局性学習障害の理解	事前学習	前回の授業で示した要点・キーワードを確認する	
		事後学習	限局性学習障害の特性を説明できるように	

			しておく
第12回	限局性学習障害児への指導 グループワーク、発表	事前学習	グループワークの準備として、前回の内容をもとに、各自考えた指導方法を書いておく
		事後学習	グループワークで示した内容に各自1つアイデアを加えてみる
第13回	学習困難児のストレス、二次障害の理解	事前学習	前回の授業で示した要点・キーワードを確認しておく
		事後学習	ノートを復習し、内容を確実に理解する
第14回	就学指導	事前学習	前回の授業で示した要点・キーワードを確認しておく
		事後学習	ノートを復習し、内容を確実に理解する
第15回	まとめとレポート作成	事前学習	第1～14回の授業内容を総復習し、各内容について説明ができるようにしておく
		事後学習	まとめとレポートをもとに、これまでの内容理解の定着を図る